



今月の記事

大震災被災地で

専門職として

家族の会

事務職員

今月の愛の園

大震災被災地を訪ねて

居宅介護支援事業所管理者

崎山賢士

4月23日から28日まで、日本社会福祉士会からの派遣で、宮城県東松島市地域包括支援センターの働きを支援するため現地を訪れ活動してきました。

家族や仲間、自宅、仕事を失った方々の避難所生活のアセスメントを行ってききましたが、被災者の皆さんは快く質問に答えてくださり、「遠くから来ていただいて、それだけでうれしい。」などと、私たちの労をねぎらってくださいました。地震と津波の体験談はあまりに悲惨で絶望的なものなのですが、その辛抱強さと謙虚さにこちらが恐縮してしまうほどでした。

避難所では、子供もお年寄りも病気の人にも、配給される食事などの対応は一律で、個別のニーズが拾いきれていない現状がありました。また、これらのニーズを担うべき現地の行政職員自体が被災し、大きな苦しみと負担を抱えており、自身も避難所

から仕事に通っているという状況でした。

支援のためのシステムや機能を支えるのは生身の人間です。被災者支援を担って働く方々を心身共に支えていくことがとても大切であり、それぞれの悲しみや葛藤を受容した精神的な支援が具体的に行われる必要があると確信しました。

滞在中、現地で様々な立場の支援者と交流する機会を得て、皆がそれぞれに震災の支援を熱く深く考え、強い意志をもって復興支援に臨んでいることを身近に感じる事ができたことも大きな学びとなりました。



ヨーロッパで活躍中のヴァイオリニスト齊藤アンジュ玉藻さんが音楽巡礼の旅として来園され、素晴らしい演奏を披露してくださいました。(4/24)



東松島市のボランティアセンターにて

専門職としてステップアップ

尾崎美和 谷口恵美
林なるみ 松本三加子

愛の園では種々の専門職が協働して業務に当たっています。昨年度、第23回介護福祉士試験と第100回看護師試験を受験し合格した4人の職員を紹介いたします。専門職として更にステップアップできるよう努力して参りますのでよろしくお願いいたします。

仕事と家事の合間にする勉強は、大変でしたが良い経験になりました。これを機に、更に自身のスキルを高められるよう、努力していきたいと思っております。(介護福祉士・尾崎美和)

実技試験の勉強もろくにできずに臨み、本番で緊張のあまり頭の中が真っ白な状態で試験が終了しました。そのため合格したことがとても信じられず実感が湧いていません。でも今まで通り、人の役に立ちたいという気持ちは変わらないので、一から勉強のつもりで少しずつ成長していけたらなと思います。(介護福祉士・谷口恵美)

去年はまさかの撃沈。今年はまさかの合格で、なんとか50歳までに介護福祉士を取得できました。この仕事に就いて6年になりますが、初心を忘れず頑張りたいと思っています。(介護福祉士・林なるみ)

准看護師から看護師を目指して通信制の看護専門学校で学びました。レポート提出と単位認定試験に向け机に向かう毎日、レポートの再提出や再試験を受ける度に本当に合格できるか不安にもなりましたが、学校の仲間と「夢を実現しよう!」と励ましあい合格できました。これからも初心を忘れず入居者の気持ちに寄り添って安心できる看護を目指して頑張ります。(看護師・松本三加子)

4月1日採用の伊藤明佳も、専門学校の養成課程を修了し介護福祉士資格を取得しました。併せてご紹介いたします。



事務局

支えてくださる人々 愛の園家族の会 射場靖代



敬老の日に各ユニットにお贈りいただいた盛花のプレゼント(上)と写真満載の会報「家族の会だより」(右)

2008年4月に設立した「愛の園家族の会」は3年目を迎えました。

「家族の会」とは、入居者のご家族が主体となり、入居者の方々の生活をより豊かにするために愛の園と協働して活動していくこと、また、家族の会会員同士が行事への参加などを通して親睦を図るとともに、家族の会と愛の園との交わりを深めていくことを目的としています。

主な活動内容は総会・役員会の開催、講演会の開催、会報発行・愛の園行事への参加などです。

入居者のご家族が関心の持てるテーマに基づいて講演会を開催したり、愛の園の様子がより伝わるよう写真をたくさん掲載して見やすい会報づくりを心がけたり、毎年敬老の日には11のユニットに盛花をプレゼントしています。今年の敬老の日には入

居者の皆様さんに喜んで使っていただける物ということで、テレビに接続して手軽に使用していただけるパーソナルカラオケ3台をプレゼントさせていただきました。

現在、入会に賛同していただいておりますご家族は45家族です。発足して3年目ですのでもだまだ足りないところもあるかと思いますが、ご賛同いただきました皆様からのご意見やご要望を大切にしながら運営していきたいと考えています。

今年度より、事務局担当が射場から生活相談員の千葉明大に代わります。どうぞよろしくお願いいたします。



私の仕事(7) 事務職員 則岡和代

「あっ 郵便屋さんが来た。」と窓越しに見ることが出来る事務室は、施設玄関横にあります。施設のエントランスの役目として、ご来園の方々の施設案内や館内外の電話対応は新築移転以来大きな仕事のひとつとなりました。

母体の社会福祉法人神愛会を始めとして、愛の園、深和ホーム他各事業の会計、診療所の報酬請求、家族の会、後援会の事務局等々で、年度代わりや総会の時期は事務室のOA機器はフル稼働です。

私はその中で、愛の園に入園されている皆さんの預かり金会計を担当しています。春・秋の遠足参加、日々のお買い物、時にはテレビや家具など大きな費用のお支払いなども、お預かり金出納明細書は2ヶ月毎にご家族の皆さんにお送りしていますが、

それをご覧いただくことが愛の園での日々のご生活の様子を知っていただくひとつと思っています。

数字とニラメッコの毎日でも、時折訪れる介護や看護の実習生たちに白寿の媪(おうな)様が、「ねえちゃん、どこから来たんな？ 学生さんか？ べっぴんさんやのぉ〜」。曾孫のような小さなお客様には「お〜お〜、おお〜、かわいいのぉ〜」と声をかけておられる姿を見て、ほっこりほっこり。そんな風景も観うけられる事務所前交差点。



堀 美都子 射場靖代 稗田由紀子 則岡和代

5 ~ 6月の愛の園

- 10(火) マリア会
- 12(木) やまびご会
- 15(日) 日曜礼拝・おめかしクラブ
- 16(月) それ行けマリモトと愉快な仲間達
- 17(火) マリア会・岩田幼稚園花の日訪問
- 18(水) 春の遠足(アドベンチャーワールド)
- 19(木) やまびご会
- 20(金) 上富田社協ボランティア
- 22(日) 日曜礼拝
- 24(火) ひまわり会
- 26(木) やまびご会
- 29(日) 日曜礼拝(み言葉の礼拝)
- 31(火) マリア会
- 2(木) やまびご会

編集者から

第27回朝日歌壇入賞歌です。
愛の園の入居者や利用者の皆さんのほとんどは悲惨な戦争を経験されましたが、これを乗り越え今日の平和で豊かな日本を築く礎となってくださいました。

皆さんの様々なご苦労に思いを馳せ感謝しつつ、人生の最終盤を過ごされている皆さんが真に平和で豊かな日々を送っていただけるために、愛の園に働き集う一人ひとりが心を新たにできるようにと願っています。(A)

「六三三 八六八九八 一五五三に 繫げ我ら今生く」 (西野防人)

東日本大震災義援金募金
4/30までの累計128,653円
ご協力に感謝いたします。

「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

ainosono@shinai.or.jp

ホームページもご覧ください。
Web サイトアドレス:
<http://shinai.or.jp>